



Weekly

尾張旭
ロータリークラブ

集まろう・語ろう
楽しもう

・会長 古橋 裕志 ・幹事 仲澤 昌容 ・クラブ会報 福岡 健
・例会日 毎週金曜日 12:30 ・例会場 〒488-0801 尾張旭市東大道町原田2570-3
・事務局 尾張旭市商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8915
E-mail: jimu@owariasahi-rc.org URL: http://www.owariasahi-rc.org

本 日 第2156回 2015年6月12日(金) No. 2041

本日のプログラム Today's Program

卓話担当者:プログラム委員会

点 鐘

卓話者:アタス・トゥラダール様

ロータリーソング 「我等の生業」

演 題:「ネパール大地震について」

前 回 第2155回 2015年6月5日(金) 記 録

○斉 唱:「君が代」・「奉仕の理想」・「茶摘」
職業奉仕委員会「四つのテスト」唱和
○ゲスト: 米山記念奨学生
サギアンポーンニット ナティニーさん
出席者: 会員24名中20名出席 出席率83.33%
前々回補正出席率 5月22日分100%

の経済は徐々に回復傾向にあります。アベノミクスで給与は上がってない、株価の恩恵は受けていないという人は、数多くいますが、大企業で働く人は全体の2割、8割は地方の中小企業であり、中でも多いのが、農林水産業、サービス業で7割の経済を活性化させない限り、日本の経済が、本当に蘇ることはあり得ないと。東京は地方に比べれば、まだ仕事があり、若い人達は、地方から東京に出てきます。その東京が出生率が1.13%と最も低く、このままだと地方も東京もどんどん衰退していくと、元総務大臣、元岩手県知事の増田さんも石破大臣も、地方消滅、何もしなければ、日本消滅に向かうと述べています。

会長あいさつ

古橋 裕志



先週からの話ですが、なぜ、今地方創生が、昭和40年代から50年にかけて、この時期、人口が再び増加し、当時の地方を支えたのが、公共事業と企業誘致でし

たが、今は地方から多くの工場が撤退し広大な土地が空き地に、国は1000兆円の借金を抱え、昔と同じような公共事業で、地方を支えることは極めて難しい状況です。

国としては、企業誘致を出来る限り支援し、税制を変え、地方に会社等を移転した場合は雇用人数に応じて、税金の控除等をして支援、地方が持っている潜在的な力をたとえば、農林水産業、観光業、サービス業等の産業を目いっぱい引き出すことによって、地方をもう一度、新しい形で蘇らせることを考えています。今日本

昔の政策は、池田隼人さんの「所得倍増」田中角栄さんの「日本列島改造」大平正芳さんの「田園都市構想」竹下登さんの「ふるさと再生」があり、その当時は強い危機感はなく、今回の「地方創生」は強い危機感を持って取り組んでいます。地方には無限の可能性があり、農林水産業に適した国は他にはなく、土と水と温度の産業ですべてに恵まれているのが日本です。

世界第6位の排他的経済水域の資源を持っているのは東京ではなく地方です。

これからの時代の主役は地方ですと石破地方創生、国務大臣は各地の講演先で訴えておられます。これまでは国が主導権を握っていました

ロータリー親睦活動月間

	6月20日(土)	6月26日(金)	7月 3日(金)	7月10日(金)
例会予定	19日(金) 振替 夜間例会 旬彩 そむら 18:00～	休 会 定款第6条第一節	卓話担当者:古橋エツ子君 卓話者:古橋エツ子次年度会長、次年度各委員長 演題:「会長所信表明・各委員会事業説明」	卓話担当者:プログラム委員会 卓話者:一般社団法人 尾張旭青年会議所 理事長 青山 誠様 専務理事 谷口 可愛 様 演題:「 未定 」

が、手を尽くした感じで、これからは各地方の自治体、市民の自主性に頼るしかないと政策の大転換を感じます。

○お忙しいの君

金森 俊輔君

第15回理事役員会

日時 2015年6月5日（金）13:35～

場所 尾張旭商工会館 第一会議室

議題 1) ネパール地震災害支援金について

(仲澤幹事)

受付にて任意募金することで承認された。

2) 創立45周年について

(箕輪実行委員長)

別紙資料で了承された。

3) 地区補助金について

(菊田次期社会奉仕委員長)

報告を受けた。(支給確定連絡)

4) 春の家族会、会計報告(仲澤幹事)

了承された。

5) 次年度予算について(仲澤幹事)

原案通り了承された。

6) その他

・退会者、承認された。

・尾張旭市図書館の月刊誌を担当することを了承された。

・次回クラブ定款・内規を見直す。

幹事報告

- ・5/29 次期OFDY委員会 於商工会館 山田次期OFDY委員長以下5名出席
- ・本日の会合：第15回理事役員会
- ・次回の例会：第3回次期理事役員会
- ・例会変更のお知らせ：掲示板をご覧ください。

おめでとう

○結婚記念日祝福：

6月15日 江尻 豪君

○誕生日祝福：

6月4日 山田 直樹君 (還暦祝)

6月26日 小柳 和之君 (米寿祝)



△結婚祝いの江尻君(左2人目)と米寿の小柳君(右2人目)、還暦の山田君(右端)祝いの方々です。

ニコボックス

○結婚記念日を祝っていただき。 江尻 豪君
○誕生日を祝っていただき。

小柳 和之君、山田 直樹君

○米寿を祝っていただき。 小柳 和之君

○還暦を祝っていただき。 山田 直樹君

○本日、委員長の代理で卓話をさせていただきます。 舟橋 龍秀君

○米山奨学生のナティニーさん、よくいらっしゃいました。大事な発表の準備頑張ってください。

丹羽 敏行君

○ナティニーさん、今以上に、日本とタイの架け橋を願っています。 古橋 裕志君

○ナティニーさん、ようこそ！ 楽しんでくださいね。 古橋エツ子君

○ナティニーさんようこそ！

菊田 利昭君、桜井 雅博君

○京都をめですぎました。ドライバーの皆さんありがとうございました。 箕輪 良孝君

○過日は箕輪さん、西尾さん何かとお世話になり、ありがとうございました。 飯田 幸雄君

○箕輪さん、京都研修会、ありがとうございました。 江尻 豪君

早朝例会で思うこと

5月22日

初夏の早朝例会。好天の陽射しを背に受けて、清洲城から移築された良福時の山門をくぐる。新緑に映え、素晴らしい庭園を通り、掲示板に目が動く。「善を積もう」と書かれている。ロータリー精神もここから来たようだ。今日の早朝例会に集まるメンバーに悟す配慮を感じた。正面にはすでに数人のメンバーがニコボックスの受付中、本堂に正座して手を合わせる。いつ伺っても厳粛なお寺、独特な雰囲気、心を洗われ清々しい気分、ニコボックスに献金する。回廊を渡りながら、例会場への途中、数人立ち止まった。新鮮な空気が漂う中庭の緑に目と心が動く。「こんな広い庭を美しく手入れし、簡理するのは大変だなあ」

「和尚さんが語っておられたよ。庭の手入れや部屋の掃除は修行の一環。これを行うと心が綺麗になるよ」。そして、7時点鐘で例会が始まった。会長あいさつ、箕輪住職の短いお言葉。出席者16名。家の遠い人は大変だなあと思いつつ終わりの点鐘。

さあこれから坐禅だ。全員本堂に席を移し、用意された座布団に座る。半眼で呼吸を整え、和尚さんの鐘を合図に瞑想に入る。静かに息を



呼吸切り深く吸い込む。腹式呼吸は意識しないとリズム、テンポがむつかしい。「無」の境地に到達するには程遠い。時折瀬戸電の走る線路の響き、遠くでニワトリが鳴いた。なつかしいなあ。庭に遊ぶ小鳥のさえずりが心地良い。どうしたはずみか昔付き合った女の顔が順番に浮かんでくる。でも名前が出てこない。ああついに痴呆のまえぶれか。二列に対峙して座っている真中を和尚さんが静かにスリ足で廻って来る。途中メンバーの一人が警策を受けた。ビシッ、ビシッ両肩に2回ずつ。体格の良い人は音の響きが違うようだ。一人で2回求めた人は、懺悔の気持ちだろうか。ああいかん余分な事を考えては。和尚さんの鐘が鳴った。長いようで短い30分が過ぎた。しびれた足に靴下をはいて朝食が待つ会場へ。お寺さんが造ってくださった熱々のお粥が大きな釜に運ばれてきた。お椀に白米が湯気を立てて浮かんでる。小皿に梅干しと塩昆布が置かれてる、質素だなあ、昼迄もたん、おかわりを2回した。熱々なのでフーフーしながら音を立てないよう、細心の気を配っていただいたのに隣の人はズルズル大きな音と共にすすってた。時にはこういう食事もいいな、満足に食べれない多くの人たちが世界中にいっぱい居る。「欲無ければ一切足り、求むる有らば万事窮す」良寛さんの詩が頭をよぎった。

次期OFDY委員会報告

日時 2015年5月29日(金) 13:40～

場所 尾張旭市商工会館 第四会議室

議題 1) 2015-16年度の事業の確認

各奉仕委員会より、申請にて協議する。

2) その他

卓 話

5月29日

米寿(健康長寿)→死(ピンピンコロリ)
→霊→あの世 ?



小柳 和之

私は今年数え年88才の米寿です。昭和48年、45才で入会から今日まで、尾張旭ロータリー

クラブの会員でおられた事に対して、当クラブの死亡された多くの会員、また退会された会員、現在の会員の皆さま方の厚意と友情に心から感謝を申し上げます。この歳(米寿)でこの恰好(黄の頭巾、黄のチャンチャンコ)で本日卓話をするのは、当クラブで初めてと思

いますが、今後多くの会員の方が健康長寿で、退会される事無く、この恰好で卓話をされる事を願っています。

此の頭巾、チャンチャンコは実は息子の家族達が、先日、舘山寺のホテルで、私の米寿のお祝いをしてくれた時に、孫達から贈られたものです。

今後は健康長寿を何より大切にして、老人施設等の世話にはならず、ピンピンコロリである世?へ出潑したいと思っていますが、まだまだ、その境地にはなれず、此の世でお酒を飲んで、家内や家族(40人)達と楽しみたいです。

賀寿の祝いは、もともと中国の風習でしたが、奈良時代に日本に伝わり、平安時代には貴族達の間にも広く行われる様になりました。当初は数え年40才の「初老の賀」から始まり10年ごとに賀の祝いを行っていました。数え歳61才の「還暦」→(赤の頭巾、赤のチャンチャンコ)赤の座布団を贈るしきたりあり。70歳の古稀「紫」。77歳の「喜寿」→「紫」。80歳の「傘寿」→「紫」。88才の「米寿」→「黄」の頭巾、黄チャンチャンコ。90歳の「卒寿」→「紫」。99歳の「白寿」→「白」。など現在も行われている長寿祝いは室町時代に始まり、江戸時代に一般庶民の間に広がった歴史のある祝行事です。今後も末長く残し、伝えていきたいものです。

卓 話

「親睦活動委員会の活動について」

親睦活動委員 舟橋 龍秀

ロータリーの創始者であるポール・ハリスは、1891年にアイオワ大学を卒業



して、5年間の放浪の旅の後、シカゴで小さな弁護士事務所を開きました。仕事は順調に進んでいたのですが、個人的な友人を見つけるのが難しく、休日には孤独な思いを募らせていました。そこで、故郷の村を思い出しては、シカゴで宗教や信条に関係なくお互いの意見を忌憚なく言い合える仲間を作りたいと考えました。そして1905年2月23日に石炭商のシルベスター・シール、鉦山技師のガスターバス・ローア、仕立て屋のハイラム・ショーレーと会合を持ったことが、その後、国際ロータリーに発展していく組織の始まりでした。このことからわかるように、親睦活動はロータリーの最も基本的な活動です。

ロータリーの五大奉仕の第一にクラブ奉仕があります。これは、クラブの機能を充実させるためにロータリアンが取るべきあらゆる必要な行動に関わるものであり、このなかに親睦活動も含まれています。クラブ奉仕が、五大奉仕の第一に挙げられていることから、これが、他の奉仕活動が円滑に行われるための基盤になる活動であると思います。

同じ興味や情熱を持った世界中の仲間たちと交流できる場として、ロータリー親睦活動グループがあります。これは、ロータリアン、その配偶者、ローターアクターなら誰でも参加可能です。これは、1928年にエスペラント語に興味を持つロータリアンが集まったことをきっかけに始まりました。現在では様々な活動グループがあります。RIウェブサイトには詳しい情報が載っていますからご覧ください。

当クラブでは、親睦委員会が担当する年間行事として、例年、夜間例会が2回、月見例会が1回、年忘れ家族会、春の家族旅行、伊那RCとの交流例会を開催してきました。2015-2016年度も基本的に例年の行事を踏襲していきたいと思っています。ただ、今年度は、創立45周年にあたり、その記念行事を年忘れ家族会と合同で2016年2月に東急ホテルで開催することにしています。その他、春の家族旅行は、2016年4月に奈良西大寺の大茶盛式参加を考えています（予定が変更になることもあります）。その他、有志による食事会や小旅行の開催も考えています。

ともあれ、会員間の友好と親睦がさらに一層深まるような取り組みにしたいと考えておりますので、メンバー各位のご支援とご協力をお願いいたします。

ガバナーメッセージ

ガバナー 近藤 雄亮



今月はロータリー親睦活動月間（ROTARY FELLOWSHIPS MONTH）です。手続要覧をみてみると、「レクリエーションや

職業で同じ興味を持つロータリアン同士の国際的な親睦と親善の重要性を認識し、親睦活動への参加を促し、親睦活動プログラムへの理解を促すための月間である。RI 理事会は、プロジェクト、活動、行事を通じてこの月間を祝うよう、これらのグループに奨励している」と書いてあります。即ち世界で共通の趣味を持つ人達、あるいは同一の事業、専門職または職業分野を持つ人達が、グループ活動をすることによって世界理解を促進し、奉仕の機会をもつことができ

る様、多国間（少なくとも3 カ国の人達がグループを作る必要がある）にわたって親睦行動を行うという意味です。2013 年10 月末時点で66 のロータリー親睦活動グループが国際ロータリーによって認定されています。

ロータリー親睦活動の歴史は結構古く1928 年、当時エスペラント語に関心を持つロータリアンが集まったのがきっかけに始まりました。その後1947 年ボートに関心のあるロータリアンのグループが、自分達の船にロータリー旗を掲げ、自らをロータリアンの国際ヨット親睦グループと名乗りました。このロータリー親睦グループの結成や運営をする為に色々なルールがあり大変な労力を必要としますが、それだけ価値が高いものと思われます。毎年RI 国際大会で親睦活動の展示用ブースと会合ができる部屋が無料で提供されているそうです。

2014 年6 月に行われましたシドニー国際大会でも友愛の広場にブースが設けられ親しく話をしている光景を見ました。また、入会のお誘いもしていました。関心のある方はサンパウロ国際大会でブースに顔を出されては如何でしょう。そしてこのロータリー親睦活動はロータリアンばかりでなく配偶者やローターアクトにも解放されており、ローターアクターにとっても大変有意義で、提唱ロータリークラブ以外のロータリアンと国際交流をする絶好の機会を与えてくれます。そして世界のロータリアンと生涯の関係を築くことが出来るし、通常経験が出来ない様な経験をすることが可能となります。

どんな親睦活動グループがあるか少し紹介させていただきます。

○アンティーク自動車親睦活動

この親睦団体は1989 年ブライアン・ヘンリーとオーストラリア9700 地区ロータリーワガワクラブによって創設されました。そしてその設立目的はアンティークな自動車に興味を持つロータリアン、その家族、友達の理想的な友情を促進することとっております。

○ゴルフ親睦活動

この会はゴルフを通して国際的な友好・友情そして理解を促進する為に1963 年創設されました。この年第728 地区ペンシルバニア・バトラーにあるロータリークラブと第101 地区のスコットランド・ダンディーロータリークラブとの間で友好的なゴルフ遠征をし合うことから始まりました。最初のトーナメントは1964 年9 月、19 カ国47 名のロータリアンが参加してセント・アンドリュースにおいて開催されたそうです。他に ○ヨット親睦活動 ○スキー親睦活動 ○スキューバダイビング親睦活動 ○ワイン愛好家親睦活動 ○鉄道愛好家親睦活動 ○ビール愛好家親睦活動 ○マラソン親睦活動 ○釣り親睦活動 ○カヌー親睦活動 などなど多くの興味ある親睦活動があります。関心のある方は1 度お調べになることを推奨します。会長・幹事・会員の皆さん宜しくお願いします。